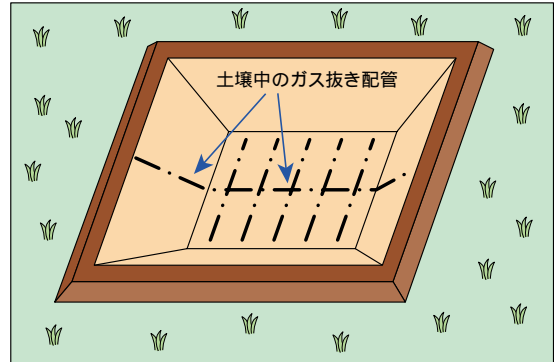


シート利用スラリー・尿貯留施設の造成法

整地・掘削

- ・周囲の作業場所を締め固めます。
- ・地面を掘り、その土を周囲に盛る。
- ・のり面は1:1.5～1:2.0(深さ:幅)の範囲で傾斜を付けます。
- ・スラリー搬入・搬出用の固定パイプを利用する場合は、この時点で設置します。直径12～15cmの硬質プラスチックパイプなどでスラリースプレッダに合わせたカプラーを取り付けます。
- ・土中から湧き出るガスを排気するために底面には暗渠用パイプ(直径約5cm)などを使って必ずガス抜き配管を設置します。
- ・石などの突起物はシート破損の原因となるので、除去するか砂などで保護します。



(掘削作業)

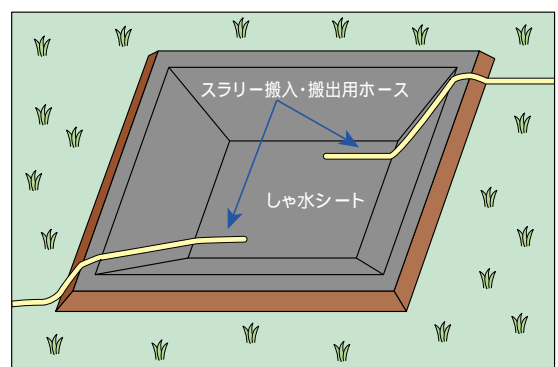


(ガス抜き配管の設置状況)



しゃ水シート、搬入・搬出用ホース等の設置

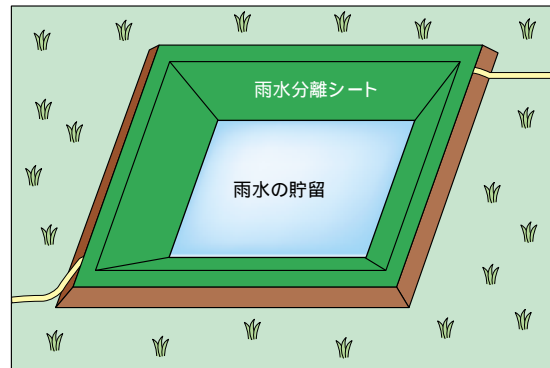
- ・しゃ水シートの設置は水漏れさせないために現場での張り合わせ(溶着)が必要となりますので専門の業者に依頼します。
- ・しゃ水シートは堤頂部分の保護のために、盛土部分も覆うように設置します。
- ・しゃ水シートの大きさは、盛土の外側まで覆うため、2m程度の余裕を持たせます。
- ・スラリー搬入・搬出用のホースは、しゃ水シートを破損しないようにしっかりと設置します。



(しゃ水シートの敷設状況)

雨水分離シートの設置

- 雨水分離シートは貯留槽の盛土部分も含めて全体を覆うようにして設置します。この時、固定用配管で雨水分離シートが傷つかないように保護をします。
- シートを設置したら風にあおられないように水 6 ~ 10t をシートの上に入れます。
- 貯留槽の周囲には安全のために柵の設置が必要です。



(雨水分離シートの設置)



(スラリー搬入後)

写真に写っているのは、雨水分離シートと雨水であり、中心部(島状)の雨水分離シートの下にスラリーが入っています。

